

1 審議会名	武石地域協議会
2 日 時	令和4年3月16日 午後7時00分から午後7時30分まで
3 会 場	武石地域総合センター3階 大会議室
4 出 席 者	池内俊郎会長、金子るり子副会長、伊藤定衛委員、金井修一委員、川合節子委員、小林明美委員、桜井敏雄委員、城下昌史委員、鈴木三千夫委員、橋詰正江委員、宮下覚、宮島友和委員【欠席委員 8名】
5 市側出席者	下村地域自治センター長、滝沢地域振興課長、樋口教育事務所長、小山市民サービス課長、佐藤産業建設課長、杉浦丸子・武石上下水道課長、若木地域政策担当係長、鈴木地域担当職員、増田地域政策担当
6 公開・非公開	<u>公 開</u> ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍 聴 者	0人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	令和4年3月 日
協 議 事 項 等	

1 開 会 (金子副会長)
2 あいさつ (池内会長)
3 報告・協議事項
(1) 武石公民館図書室及び学習室の運用について (教育事務所長説明)
(教育事務所長) 図書室の1、2月休日開館、また毎週木曜日の延長開館の利用状況について、利用人数は少ない状況となっている。 自治センターだより武石1月号に図書室の紹介記事を掲載し、1月から図書室のカウンター脇に特設コーナーを設置し定期的に入れ替えを行っている。 また、丸子図書館等から準新刊を取寄せ、新しい本に出合える機会を増やせるよう取り組みをしている。 メール配信、武石公民館のFacebookなどで周知していますが、なかなか利用者が増えないという現状となっている。 4月以降も利用の促進を図りながら引き続き、第一土曜日・第三日曜日の休日開館及び毎週木曜日の延長開館継続し、今後の方針を検討していきたいと考えている。 ○武石公民館学習室1、2月利用状況について 1月前半は1月15日、16日が大学入試共通テストということで人数はそれほど多くないが、例えば1人の方が朝9:00に来館し、夜10:00頃まで勉強している。 2月にも高校入試を控えた学生が来館し利用していた。 学習室の利用状況は、とても良好だと思っているので、引き続き継続していきたい。
委員からの意見、質問なし
(2) 岳の湯温泉雲溪荘の今後のあり方について (意見書)
(会長) 上田市への意見書(案) 今日みなさんに賛同いただければ(案)を外してそのまま意見書提出となる。 以前にも一度、このような方法でということで意見書(案)を説明資料として配布しているが、実情、方針、方法は変わっている。 アンケート結果の中身をもう一度、確認したところ、以前の「5つの案を検討している」と提案をする予定だったが、実情は廃館と直結する内容になる。 しかし、3分の2の方が残してほしいと要望がある。その要望に合わせた方向に急遽、舵を切った経緯がある。 皆さんにお届けしたものが今回の指標になっている。

基本的には、雲溪荘という形が無くなるとしても厳選も含めて、将来引き継いでいく体制を整えたい。これが最大のポイントとなる。

うつくしの湯と統合という仮定も含めて、いくつか提案をしてある。

これで良ければ、意見書と資料を上田市へ提出したい。

明日、上田市長との面談が予定されていて内容の説明をしたうえで、意見書を提出することになっている。

先に決まっていて申し訳ないが、よければこの内容で進めたい。

変更した趣旨に関しては資料1の1ページを読んでもらえばなぜ変わったのかが分かるようになっている。

大きな変更点は、方向転換と財源に当たっては過疎債を活用することになる。

よろしければこの内容で、明日市長へ意見書を提出する。

委員からの意見、質問なし

(3) 武石診療所のあり方(方針)について(市民サービス課長説明)

(市民サービス課長) 昨年4月に地域協議会へ諮問し、答申。そのあと1月から関係団体地域住民への説明会を開催。厳しい点もあったが概ね住民の皆さん理解を得て、市の方針を作成し3月議会で説明した。この方針に基づき来年度から依田窪病院と今後について協議を進めていく。4月からの診療体制について、所長に奥泉医師を迎え、奥泉医師が来られない月曜日の外来、水・木曜日の外来については信大と依田窪病院からの医師で、何とか従来通りの医療体制がとれた。地域の皆様の御不便をお掛けしないように運営していきたい。

【質疑等】

(委員) 院長の身分は常勤か。

(事務局) 常勤の医師ではなく、会計年度任用職員の所長として迎えている。正規の職員ではない。

(委員) 上田市の会計年度任用職員ということか。

(事務局) そのとおり。

(委員) 北御牧の方もそういうことか。

(事務局) 診療支援という形になる。

(4) わがまち魅力アップ応援事業について(地域振興課説明)

(地域振興課) 武石・未来・つながるプロジェクト

令和元年から「わがまち魅力アップ応援事業」に参加している。

今年度が3年目であった。しかし、コロナ禍で予定していた活動が思うようにできず、苦勞されている中ですが、令和4年度も引き続き、コロナ禍でできなかった活動をしたいということです。

活動内容は選考申込書の通り。

予算は500,000円、補助金希望額477,000円。申請については事前に事務局で審査済みで問題ないと考え受理している。地域協議会でもこの事業を行ってよいか判断願いたい。

(会長) この内容で来年度4月1日から、4年目の事業の承認をしてよろしいか。

委員からの意見、質問なし

～ 全委員承認 ～

(5) 第9期武石地域協議会への引継事項について

(会長) 来期の地域協議会に向けて4項目の引継事項を決めた。一つは雲溪荘の意見書に関して今後上田市との間で雲溪荘のあり方をきちんと詰めていく。4年度から3年間は、現状のまま維持していただきその間で最終方向性を決めてもらうという意見書となっているので、その内容で引き続き検討をお願いするというもの。二つ目は公共交通関係、住みよい武石をつくる会の部会のほうで取った高齢者クラブのアンケートをベースとした今後の展開をしていくことになっており、現状では上田市に内容を伝え検討をお願いしている。地域の方はワンボイスが重要であり、どの組織、どの会から出てもしっかりとしたものを統合し、一つの形にして地域協議会として上田市に意見書等を提出する必要がある場合は協力して併せてやっていく。この体制は引き続き継続していく。三つ目は全域公園化構想について、2020年度の夏に地域協議会、自治連、住みよい武石をつくる会、自治センターの4者協議会を設定し、今後の公園化構想の具体化を詰め、2021年度に予算化を図る予定だったが、コロナ禍で4者協議が2年間開けず具体的な協議項目が進行していない。令和4年度から今後の体制をどうするのか4者協議会で協議し、継続するのであれば中身を詰めたいと市に予算を要求していくといったことを継続してやっていただきたい。四つ目として、公民館図書室のあり方について、現在月2回土日の半日開館、木曜日の1時間延長を実施しているが、当時の市の回答では試験的に行いその状況を踏まえ今後協議していくことになっており、最終的に永続的なのか暫定的なのかまだ決まっていない。現状4月1日からは今の体制を継続しているが、昨年8月に市の回答に対する意見書を再度提出したが、最終的には、フルスペックでの対応のお願いを継続していく。

診療所の件について、昨年末に答申を提出し方針化された。診療所のあり方について、今後3年、4年の間に新たな方向性が示され、その時それに合わせてどうしていくかその都度協議していくことになり、現在市からの提案待ちの状態。特段引継事項には上げていないが、継続して検討願いたい。以上の項目を次期の協議会の方に引き継いでいきたいと思う。

委員からの意見、質問なし

(6) その他

【質疑等】

(委員) 雲溪荘の運営でランニングコストがかかるということなので、お湯を利用し、可能ならば下へ引いてくるような形で小水力発電みたいなものを検討し、可能ならば、その電力を使って還元するってというようなことができないか調べてもらえないか。

(会長) 次期協議会には過去の意見を集約しまとめたものを引き継ぎ検討してもらう。

4 その他

(1) 退任あいさつ (会長)

(2) 御礼あいさつ (センター長)

イ 第9期 上田市地域協議会 合同委嘱式

日時：令和4年4月20日(水) 午後1時30分～

場所：上田文化会館 ホール

令和4年度 第1回 地域協議会の日程について

日時：令和4年4月20日(水) 午後5時30分～

会場：武石地域総合センター 大会議室

5 閉 会（金子副会長）